



雑誌について



雑誌は、11誌購入しております。

上段左から

- 高校文芸みえ（寄贈・文芸）
- 大学への数学（数学）
- MUSICA（音楽）
- Number（スポーツ）
- Newton（科学）
- 寄贈雑誌
- Simple（外食・地元情報）

下段左から

- オレンジページ（料理）
- ダ・ヴィンチ（書籍・マンガ情報）
- SCREEN（映画）
- PASH!（アニメ）
- non-no（ファッション）
- FINEBOY（ファッション）

最新号は貸出できません。バックナンバーは貸出OKです。

新聞について

朝日新聞 / 毎日新聞 / 中日新聞 / Asahi Weekly（英字新聞）

新聞は一年間保存します。
過去の新聞を読みたいときには、カウンターまでお申し出ください。

先行研究とは

今どこまでわかっているか
今どんな状況か

が書かれているもの

図書館クラスルームの授業



「自分で調べてもみつけれない」ときは、司書まで相談ください。
授業なのに司書に調べてもらうのはダメと思っているなら違います。
「司書が調べる」ことは、図書館の機能なので、正しく活用してください。
*ただし、全く自分で調べずに、司書に丸投げはダメです。



スライドで検索サイトを紹介 リンクしてあるので、そのままサイトへ

本を探すためのインターネットサイト

- ・[国立国会図書館サーチ \(NDL Search\)](#)
- ・[三重県立図書館 \(mie.lg.jp\)](#)
- ・[日本最大の図書館検索カーリル](#)
全国の公共図書館の蔵書検索ができるサイト。「伊勢高校図書館の本を探す」はここが提供している
蔵書検索履歴履歴サービス
- ・amazon e-hon 等の書店関連サイト
- ・[図IMAGINE Book Search](#)
新書マップ WebcalPlus Wikipediaなどが横断検索

論文・雑誌記事を探すインターネットサイト

- ・[CiNii Books](#) - 大学図書館の本をさがす 国立情報学研究所
 - ・[J-STAGE](#)
ここで検索できる論文は、ほとんどがネット上で読むことができるので、論文検索はこのサイトを優先してご利用します。
 - ・[Google Scholar](#)
 - ・[国立国会図書館サーチ \(NDL Search\)](#)
- 新聞記事検索については、現在伊勢高校図書館ではできません。必要人は、司書に相談ください。

サイトを検索して見つけた資料は、図書館に準備を依頼してください。

学習支援・未来設計

「進路・学習」の棚を設置しています。

勉強方法→

5教科
参考書類→

仕事・職業
↓



←総合・推薦入試対策
面接対策

←小論文対策

←医・歯・薬・看護系
受験対策

←時事問題



←大学について

←学部・学科について

←大学入試過去問

図書館通信紙面にて、学問系統別のおすすめ本を紹介する予定です。大学でその学問を学びたいのなら、高校生のうちに読んで欲しいという観点で選びます。昨年度紹介したものは、図書館内で掲示しています。



図書委員のコーナー

図書委員が本や図書館に関することを語ります。



*前年度から続く、「長編シリーズのおすすめ本」紹介です。

〈準備運動はOK? ならばいまこそ本気の猛者向け読書!〉

『図書館戦争』シリーズ 有川ヒロ(浩)

「念願の図書館に採用されて、私は今——毎日軍事訓練に励んでいます」

「メディア良化法」によりあらゆるメディアが厳しい検閲を受け取り締められる日本で、読書の自由を守るために闘う組織「図書館隊」。高校時代に大切な本を図書館員の「王子様」に救われた経験を持つ笠原郁は厳しい特訓を経て、「図書特殊部隊」に抜擢される。しかし毎日トラブルだらけ。特に直属の上司である堂上はなぜか郁には恐ろしく厳しい。それでも郁は憧れの王子様に近づくため、必死で食らいついていく——。

映画化アニメ化された大ヒット作。あらすじだけ見ると、本を守るための熾烈な争いが繰り広げられるバトル小説のように見えます。バトルシーンの臨場感あふれる描写もこの作品の魅力ではありますが、ヒットの所以はそれだけではありません。とにかく、ギャップが主食の私はきゃあきゃあ騒いだりぎゃあぎゃあ悶えたりしながら読みました。いやもうほんと有川浩ね……そういうことするよね……。『植物図鑑』と同じ作者である時点でわりとお察しな感じですが。誰よりもひたむきでまっすぐな姿を見ればあなたも郁に恋すること間違いなしです。そう、作中のあの人のように。二人に幸あれ。

少年漫画好きも少女漫画好きも全員集まれ! 別冊も含め、全六巻完結済みです。作中に登場する『レインツリーの国』も伊勢高図書館で所蔵しています。

『八咫鳥』シリーズ 阿部智里

八咫鳥の一族が住まう世界「山内」で、世継ぎである日嗣の御子、若宮の後選びが始まった。朝廷で激しく権力を争う大貴族四家から遣わされた四人の姫君は、それぞれ四季を司るかのように魅力的。各々の思惑を秘め後の座を競う中、様々な事件が立て続けに起こる。そんな状況下で若宮に仕えることになった少年、雪哉は孤立無援の宮廷で御身を狙う陰謀に巻き込まれていく——。

史上最年少松本清張賞受賞作です。偉大な小説家の名を冠した文学新人賞の場合、ほとんどの場合その作家が名を馳せた分野の小説が受賞します。なので歴代受賞作には松本清張の名にふさわしい、ミステリー小説が名を連ねています。つまりこの作品、わりとごりごりのミステリーです。第一巻『鳥に単は似合わない』の末尾についている解説には「もし、あなたが花とゆめと豪華絢爛な世界で起こる美しくも悲しい物語を望んでいたなら、読み終わった後に肩透かしを喰らったような気がするかもしれない。反対に、ファンタジーなんぞに全く興味がないけれど、帯に書かれた謎解きに興味を持った硬派のミステリー好きなら、最後の1ページを読み終えた後、手を打って喜ぶだろう」と。ちなみに私は花とゆめと豪華絢爛な世界で起こる美しくも悲しい部分が好きです。

この物語を語るにおいて、特筆すべきはやはりその練り上げられた世界観と登場人物でしょう。そのうえ描写が緻密で、山内の豊かな自然や華やかな宮廷の様子、登場人物のひとりひとりの微笑みまでありありと浮かんできます。

読者を強烈に惹きつけてやまないこのシリーズは現在第二部の真ただ中、外伝も含め既刊十一巻です。

え〜? なんだって〜? 時間がないって〜? いいからとりあえず読め〜!!